

平成24 年度（ 23 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 24 年 10 月 2 日

1 事務事業 の 現状 (DOC)	事務事業名 No. 690110 みよし市教育支援センター事業		主管課名 学校教育課								
	この事務事業 の位置	政策	社会と次代を担う自立した人材の育成		課長名 花井 伸						
		施策	豊かな心と個性が輝くまち								
		基本事業	教育内容・活動の充実								
	(1)事業の概要										
	市内小中学生とその保護者、小中学校教員を対象として、いじめ、不登校等の学校の諸問題への対応支援、発達や就学に関する教育相談、個別の支援が必要な児童生徒に対応する教員への補助者の配置等を総括的に行う。			(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) …数値は(9)							
				名称	単位						
				心の教室相談員・子どもの相談員	人						
				専門医等 延べ相談件数	件						
				特別支援教育対応教員補助員	人						
			その指標								
(23年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)		心の教室相談員：各中学校1名ずつ 週3回、子どもの相談員：小学校8校に1名ずつ 週3回、専門相談員2名を配置：年間90日(単位：半日)、専門医相談：年5回									
24年度計画	前年と同様 変更あり	変更内容									
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)			(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) …数値は(9)								
全児童生徒と保護者 教職員			名称	単位							
			児童生徒数	人							
			教職員	人							
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)			(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) …数値は(9)								
相談件数が増え、悩みが少しでも解消される。 個に応じた対応ができ、学習効率を高めることができる。			名称	単位							
			相談件数	件							
(4)結果(上位基本事業の意図：基本事業にどのように貢献するか)			(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) …数値は(9)								
安心して生活でき、進んで学習できる環境をつくとともに、規則正しく生活する健康な体力づくりを行う態度を育てる。			名称	単位							
			教育基本計画における重点施策の達成率	%							
			体力テストの県平均を上回った種目の割合	%							
			身体測定の全国平均を上回った項目の割合	%							
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標											
指標	年度	単位	22年度実績値	23年度実績値	24年度計画値	25年度目標値	26年度目標値	27年度目標値			
(5)の活動指標		人	12	12	12	12	12	12			
		件	186	190	200	200	200	200			
		人	14	15	15	17	17	18			
(6)の対象指標		人	6,878	6,926	6,904	6,916	6,895	6,796			
		人	369	365	364	364	364	363			
(7)の成果指標		件	2,957	2,061	2,000	1,800	1,700	1,600			
(8)の結果の成果指標		%	100	100	100	100	100	100			
		%	75	75	75	75	75	75			
		%	30	30	30	30	30	30			
(10)予算費目		会計	01 一般会計			款	10	項	01	目	05
(11)コスト		年度	22年度実績値	23年度実績値	24年度計画値	25年度目標値	26年度目標値	27年度目標値			
事業費(決算又は予算額)		単位	28,949	31,622	32,601	34,886	34,886	36,037			
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0	0	0			
	一般財源	千円	28,949	31,622	32,601	34,886	34,886	36,037			
人件費B		千円	2,706	2,733	2,733	2,733	2,733	2,733			
正職員従事時間×人数		時間×人	360×2	238×3	238×3	238×3	238×3	238×3			
正職員以外の人件費		千円	50	50	50	50	50	50			
その他費用C		千円	415	826	826	826	826	826			
トータルコストA+B+C		千円	32,070	35,181	36,160	38,445	38,445	39,596			
単位あたりコスト		千円/人	5	5	5	6	6	6			
(トータルコスト)/(6)の対象指標		千円/人	87	96	99	106	106	109			

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名	No.	690110	みよし市教育支援センター事業
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？			(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？
	平成16年度から			普通学校に在籍し、支援を必要とする児童、生徒が増加しているため、補助員の増加が急務となっている。 平成18年3月議会で事業内容についての質問を受けた。 平成22年3月議会で事業内容についての質問を受けた。
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？			
平成15年度まで県委託事業であったものを、市単独で実施するようになった。平成22年度から、事業の充実、効率化を図るため、教育支援センター構想として実施した。				
(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？				
変化していない		変化している		
変化している		変化している		

3 評価(SEE)	目的妥当性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務	根拠法令	法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する
		自治事務	根拠法令	なし	
		(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく	理由	「悩みや不安を解消していく、問題行動の減少・防止を図る」ことは、「知徳体の調和のとれた人間形成を図る」ことに結びつく。
		(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる	内容	就学前の乳幼児及び中学校卒業後の児童とその保護者
		(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる	内容	
		(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい	理由又は内容	
		(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？	できる	理由又は内容	教育相談事業の事務の効率化を図ることにより、相談件数の増加を図ることができる。
		(7)類似又は関連する事業はありませんか？また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	ある	類似事業名	ある
		(8)現在の成果水準のままでは事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある	内容	
		(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある	内容	
有効性	(10)受益者負担はありますか？また、受益者負担割合は適正ですか？	ある	現状で適正	内容	
		ない	検討が必要		
効率性	(10)受益者負担はありますか？また、受益者負担割合は適正ですか？	ある	現状で適正	内容	
		ない	検討が必要		
公平性	(10)受益者負担はありますか？また、受益者負担割合は適正ですか？	ある	現状で適正	内容	
		ない	検討が必要		

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
	コストの方向性	維持	事業費の方向性	維持	成果の方向性	維持	
(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど	補助者や相談員の研修の充実により、支援の質の向上を図ることができる。専門医等の専門家の相談事業事務の効率化を図ることにより、相談件数の増加及び相談者の問題解決や不安解消の事例の増加ができる。						